



小ヶ瀬井路



亀山公園内の島内下徳瀬井路を利用して造られた親水公園

information

小ヶ瀬井路

文政5年(1822)庄屋草野忠兵衛・広瀬久兵衛が郡代塩谷大四郎の命を受けて翌6年に起工した。久兵衛の従兄魚屋長八が工事の専任監督をひき受け、多大の苦労を重ね文政8年(1825)12月に竣工した。

本井路は日田市中心部を流下しており、市街化の波により宅地・道路に転用され水田面積は年々減少しているが、水は防火用水として利用されるなど多面的に利用されている。

島内井路

三つに分かれた三隈川に挟まれた島内地区は、大正10年・昭和28年に未曾有の大洪水により大被害を受けたと記されている。昭和28年の大水害では、水郷日田が一瞬にして泥海の街になり、中でも島内地区は、市内でありながら川で挟まれた地域で、周辺の橋が全部流出してしまっただけで陸の離れ島となってしまった。また、耕地のほとんどが流出し深刻な状況であった。

県営島内地区災害復旧事業の認可を受け昭和28年12月から同34年にかけてようやく復旧した。亀山公園内に築造された親水公園を流れる水は、島内井堰から取水した水が流れ、人々の安らぎの場となっている。



建設年	昭和18年～昭和30年
所在地	日田市天瀬町女子畑
諸元	1号サイホンL=132m、管径φ600mm 2号サイホンL=220m、管径φ600mm
お問い合わせ	日田市天瀬町女子畑2393-4 女子畑土地改良区 TEL0973-57-3468 (FAX共通)